

シンポジウム

自然と共生 未来を生きる

「火焰土器の国」

新潟に息づく、縄文の
智慧「自然との共生」。
地球規模の環境課題に
直面する今、その思想が
持続可能な未来を切り開く
鍵として注目されています。

本シンポジウムは、2027年に横浜で開催される
GREEN×EXPO 2027との連携企画です。

本県出身の考古学者、小林達雄（1937-2025）が
探究した縄文の精神を共有し、
私たちの未来の暮らしを考えます。

火焰土器
（馬高遺跡出土土器、
重要文化財）
長岡市馬高縄文館

火焰土器の国・
新潟から考える

FREE

参加無料

会場定員

200名

※要事前申込
※Zoom配信あり

基調
講演

自然共生…
縄文から学ぶ
自然共生の未来

— 講師 —

造園家、GREEN×EXPO ラボ チェアパーソン
涌井 史郎氏

2025

11.2日

13:00 → 16:20

12:30 OPEN

新潟日報メディアシップ 2階 日報ホール

新潟市中央区万代3丁目1-1

主 催／NPO法人ジョーモネスクジャパン、新潟日报社、信濃川火焰街道連携協議会（新潟市、三条市、長岡市、魚沼市、十日町市、津南町）

共 催／（公社）2027年国際園芸博覧会協会、新潟県立歴史博物館、（一社）北陸地域づくり協会、（一社）地域創生プラットフォームSDGsにいがた、（公社）日本文化財保護協会、（一社）地域ルネッサンス創造機構シンクタンク・ザ・リバーバンク

後 援／国土交通省北陸地方整備局、新潟県商工会議所連合会、（公社）新潟県観光協会、新潟県立歴史博物館友の会、（一社）長岡市緑地協会、（一社）魚沼園ロジスティクス、にいがた22の会、国際ロータリー第2560地区、国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン、ライオンズクラブ国際協会333-A地区（予定）

詳細は裏面をご覧ください

自然と共に生きる未来

火焰土器の国・新潟から考える

参加無料

会場定員

200名

※要事前申込
※Zoom配信あり

第1部

開催趣旨プレゼンテーション | 10分

GREEN×EXPO 2027とは

脇坂 隆一(わきさか・りゅういち)氏

(公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会推進戦略室長)

基調講演 | 60分

自然共生…縄文から学ぶ自然共生の未来

講師／涌井 史郎氏(造園家、GREEN×EXPO ラボ チェアパーソン)



ミス馬高(馬高遺跡出土土偶/重要文化財)長岡市馬高縄文館

第2部

ビデオ上映 | 10分

考古学者 小林達雄からのメッセージ

パネルディスカッション | 70分

縄文思想と地方創生

コメンテーター | 涌井 史郎氏

コーディネーター | 新潟県立歴史博物館 学芸課長 宮尾 亨氏

パネリスト

信濃川火焰街道連携協議会・
新潟市文化スポーツ部歴史文化課
未来の悠久山をつくる会
(一社)魚沼圏域ロジスティクス
CEFIC新潟支部

龍田 優子氏

金子 陽奈子氏

中沢 俊一氏

勝 智哉氏

総合司会 | FM長岡 山田 光枝さん



涌井 史郎(わくい・しろう)氏

GREEN×EXPO ラボ チェアパーソン、
造園家、東京都市大学特別教授。2005
年日本国際博覧会(愛・地球博)で会場
演出総合プロデューサーを務め、ハウス
ステンボスなど数々の大規模なランドス
ケープ計画を手掛ける。人と自然の共存
をテーマに活動し、黄綬褒章、日本造園
学会 土木学会賞など受賞多数。

お申し込み方法

会場参加 | 10月22日(水)締切

ライブ配信(Zoom)視聴

抽選。右記QRからお申し込みください。応募多数の場合は抽選とし、参加いただける方にはご案内のメールを送付いたします。



※会場参加・ライブ配信視聴ともに当イベントの特設サイトからお申し込みいただけます。「新潟日報 主催イベント」で検索してください。※ご応募の際の個人情報は当事業の運営にのみ使用いたします。※視聴ページのURLを第三者に提供することは禁止します。※ライブ配信を録音・録画・撮影すること、SNSなどへのアップを禁止します。



お問い合わせ 新潟日报社総合プロデュース室 TEL.025-385-7473 (土日祝除く10:00~17:00)

一 断章 縄文の思想

星降る夜空と地上の自然に適應する時代は長く続く。その中で、縄文人は定住的な空間を自らのために設計し、家や墓とともに公共的な広場を創設した。この広場が社会の中核として機能し、縄文の思想を育んだ。縄文人の時間と空間は、縄文論理空間の充実と展開に働いた。……自然への目配せだけでなく、人づきあいが重要課題となった。とりわけ共同体の全体意志の形成と正義の問題は、今日現在に至るも解決をみないままである。

本年8月22日に急逝した小林達雄(1937-2025)の未発表原稿から抜粋



2027年、横浜で「GREEN×EXPO 2027」開催!

「幸せを創る明日の風景」をテーマに、

自然・人・社会が「共に持続するための最適解」を横浜から世界へ発信する国際園芸博覧会です。会場では新潟が誇る「火焰土器」の展示も計画され、縄文の智慧が国際的な舞台で紹介されます。

「GREEN×EXPO 2027」とは、…2027年に神奈川県横浜市(旧上瀬谷通信施設)で開催される国際園芸博覧会の略称です。「植物」、「花」、「緑」を総称し、「自然」、「環境にやさしい」という「GREEN」、国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会「EXPO」という語を掛け合わせ、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場であることを表現しました。日本では1990年の大阪花の万博以来37年ぶりとなる最上位(A1クラス)での開催で、BIE(博覧会国際事務局)認定の万博でもあります。



公式ホームページ



©Expo 2027



GREEN×EXPO 2027
公式マスコットキャラクター
トランクトランク